

🎁 まちの声&プレゼント

本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。
お便りをくれた人の中から、芸術・茶屋 カタチよりおやつセットを5人にプレゼントします。

■応募締め切り 9月21日(金)当日消印有効
※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます

■紹介・回答 お便りは個人を特定できる情報を削除し、要約して広報紙でご紹介させていただきます場合があります。また個別の回答は行っていません

■応募・問い合わせ ハガキかメールに住所・氏名・性別・年齢・電話番号・まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉ hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報広聴係☎2208までご連絡ください。



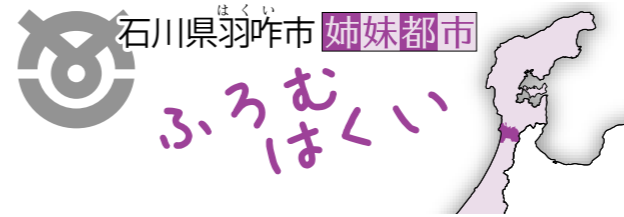
おやつセット

有機豆を使ったコーヒーと自家製おやつ、自家製クッキーのセット。

八塩あじさいの里の古民家を改修して、芸術・茶屋を開きました。現代美術による床の間のしつらいと、緑に囲まれた和室でゆったりお過ごしください。

芸術・茶屋 カタチ

*住所 藤岡市鬼石1015-2
*電話番号 ☎080-3315-1765
*営業時間 正午～日没
*定休日 平日



↑コスモアイル羽咋で初めて制作された巨大砂像

千里浜海岸、道の駅、コスモアイル羽咋で展示 砂の芸術品「巨大砂像」

毎年、千里浜レストハウス下には夏に合わせてアニメのキャラクターなどの巨大砂像が作られ、海水浴客などを楽しませています。道の駅「のと千里浜」でも「大黒さま」の砂像が制作され、おさい銭を投げ入れる有名スポットになっています。コスモアイル羽咋には今年初めて、月面着陸したロケットをコスモアイル羽咋のマスコットキャラクター「宇宙人サンダーくん」の仲間たち(宇宙人)が大勢で出迎える巨大砂像が作られました。

巨大砂像は細かなデザインが施され、まさに芸術品です。道の駅とコスモアイル羽咋では年間を通じて展示していますので、藤岡市の皆さんも羽咋市にお越しの際はぜひ、ご覧になってください。

西日本豪雨災害にみるように災害はいつ、どこで起きるか分かりません。いざという時のためにしっかり防災対策をしなければなりません。非常持ち出し袋の見直しや洪水ハザードマップの確認もしてみま

今年は大変な一年でしたね。来年、お二人が仲良く元気に結婚式を迎えられることを心より願っています。
(70代・女性)

昨年まで大病もなく過ごしてきましたが、年末から年始めに入院することとなり、その後入退院を繰り返し、主人と2人の娘家族に支えられ、ようやく体調も元に戻りつつある昨今です。8月の広報で金婚式の記事を見て、私たちも来年金婚式を迎えることに改めて気付きました。夫婦共々元気に過ごせることを祈る日々です。
(70代・女性)

まちの声

みなさんからの声を紹介します
※プレゼント当選結果とは関係ありません

このほかり通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

広報ふじおかではこれからも市内のイベント情報などをたくさん載せていきます。ぜひ藤岡市の魅力をもっと知ってもらえたらうれしいです。
(30代・女性)

結婚して、先月北海道から引っ越してきました。経験したことのない猛暑に驚きの連続ですが、早く藤岡市になじめるようにたくさん市のことを知りたいです。たくさん情報提供よろしくお願ひします。
(30代・女性)

目より情報

芸術の秋を楽しむ♪
魅力的なアートを鑑賞

秋はスポーツやグルメを楽しむ季節ですが、市内では「芸術の秋」を楽しむことができます。暑さも和らぐこのシーズン、お出掛けしてみませんか。

かなな秋のアート祭り

*期間 9月21日(金)～24日(休)
*時間 午前10時～午後6時
(23日・24日は午後8時まで)
*会場 アートと花の広場 (鬼石郵便局前)
*内容 アーティスト作品の展示・ステージイベント・乗馬体験など(予定)
*問い合わせ にぎわい観光課☎3311

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.30

お問い合わせ 文化財保護課☎235997

下がった目尻、三日月のようにつり上がった口角、おかしそうに笑っている人も多いのではないのでしょうか。威嚇するような表情の「盾持ち人埴輪」のような例外を除くと、平静な表情のものが多い人物埴輪の中では変わった存在です。

埴輪は3世紀後半に古墳とともに登場しますが、5世紀半ばになると、いろいろな種類の埴輪が出そろい古墳に並べられるようになります。並べられた埴輪で何が表現されたのか、さまざまな解釈がありますが、何らかの儀式の様子を表したものと考えられます。埴輪はそれぞれ儀式の参加者であり、それぞれ役割が与えられていました。

「笑う埴輪」は牛田地内で出土しました。簡素な造形から「馬曳き人」の埴輪の可能性が高いと考えられます。馬曳き人の埴輪は馬形埴

「笑う埴輪」の話

～群馬HANI-1グランプリへ
エントリーしています～

笑う埴輪

埴輪に付属しており、馬の世話をし手綱を引く人物として作られました。主役は馬であることから、馬曳き人の埴輪の造形は簡素であることが多いのです。しかし欠失部分が多く、なぜこんな表情なのか、どんな身ぶりをしていたのか、多くの疑問が残っています。

※「笑う埴輪」は、投票で最も人気のある埴輪を決定する「群馬HANI-1グランプリ」に藤岡市を代表してエントリーし、グランプリを目指しています。9月17日(祝)までWeb投票できます。